

## コンサルティングエンジニア連盟活動報告



令和3年2月  
コンサルティングエンジニア連盟  
会長 大島 一哉

会員の皆さんこんにちは！

日頃からコンサルティングエンジニア連盟（以下、連盟と記載）の活動にご理解、ご協力を頂くとともに、連盟会員として加入、活動をして頂いており誠にありがとうございます。

ここに令和2年（第20期）連盟年次報告書をお届けします。

令和2年は新型コロナに明け、新型コロナに暮れる大変な1年でした。コロナ禍に伴い、私達の社会・経済生活は大きく変わりました。移動や集合の規制や自粛など活動が制限させられる中で、テレワーク、テレビ会議など、いわゆるウィズコロナの新しい生活様式も加速、普及しています。

このようなコロナ禍であったのですが、建設コンサルタントを取り巻く環境は着実に前進しました。令和元年6月14日に公布、施行された改正品確法に基づく基本指針の改正に続き、発注関係事務の運用に関する指針、いわゆる運用指針が改正され、令和2年4月から新しい運用指針による発注事務が開始されました。新しい運用指針では「発注事務の適切な実施のために取り組むべき事項」、「災害時における対応」、「多様な契約方式の選択活用」の項目において「工事」と同格に「測量・調査及び設計」についての記述が新設されました。建設コンサルタント業務も法律に明記された指針に基づいて発注されることになったのです。連盟が求めている建設コンサルタントの法的確認についての大きな一歩といえます。

また、昨年末には防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（仮称）が事業費15兆円で総理指示されました。平成30年度から令和2年度までの3年間のものが新たに5年間延長され、事業費25%増となりました。

一方、連盟も建設コンサルタントを理解し、支援して頂いている佐藤信秋、足立としゆき両参議院議員に対する応援活動を行うとともに、物心ともに応援の大きな証しとなる会員増、会費増（口数増）の活動を積極的に展開しました。会員数と口数の獲得目標を定め、令和元年2月に開設した独自事務所を拠点にして、全国9支部と連携し、新規会員の獲得、口数の増に努めました。幸い、建設コンサルタンツ協会のご理解と大きな協力（コロナ禍における三密回避のための会議室借用など）を得たこともあり、会員増、口数増の大きな進展

をみました。会員、口数とも獲得目標 2,200 名、3,300 口を達成し、かつ、過去最高、前年比それぞれ 3 割、4 割増しを記録しました。この結果、連盟の財務基盤も強化されました。ここに、会員の皆様、建設コンサルタンツ協会の関係者の皆様に厚く御礼申し上げる次第です。

さて、来年、令和 4 年 7 月には第 26 回参議院選挙が予定されています。連盟は足立としゆき議員の再選を強く希望します。連盟は会員増、口数増の活動を中心に、足立としゆき議員の活動を強く支援していきたいと考えます。選挙戦はもう始まっています。会員の皆様のご理解、ご協力を改めてお願いいたします。

最後に、私事となりますが、私は 2 月 16 日の総会をもって連盟の会長を退きます。平成 29 年 2 月より 4 年間、会長を務めさせて頂きました。連盟の強化、建設コンサルタンの社会的・経済的地位の向上にいささかの前進があったのか、自らの力を恥じるところであります。後任に長谷川伸一氏を推させて頂きました。新会長のもと連盟の活躍を祈ってやみません。4 年間ありがとうございました。